

# 国宝松本城と奈良井宿

第35回建築技術見学会は、国宝・松本城と中山道の宿場町・奈良井宿です。今回は、日本の四代城郭として知られる松本城と、中山道の宿場町で、かつて千軒の宿でにぎわったといわれる奈良井宿を中心に訪ねます。松本市内の散策もプログラムには含まれています。各支部技術対策委員の方を中心に、皆様の参加をお願いします。

## 松本城とは



文禄（一五九三〜一五九四年）時代に建てられた五重六階の天守閣は、城の中では日本最古です。いくたびかの存続の危機を、市民の情熱により乗り越え、四百余年の風雪に耐え、戦国時代そのままの天守が保存されています。明治の大改修後の昭和十一年、国宝に指定されました。（昭和二十七年再指定）別名深志城とも呼ばれています。

姫路城、彦根城、犬山城とともに四つの国宝城郭のひとつです。周辺は松本城公園として整備されており、北アルプスを抱いた威風堂々とした姿と、季節ごとに見せるさまざまな表情が美しく、松本のシンボルとして多くの方に親しまれています。

## 行程

- 1日目 池袋駅＝中央道＝奈良井宿＝旧開智学校＝松本市内散策＝浅間温泉
- 2日目 浅間温泉＝松本城＝真田宝物館＝上信越道＝池袋駅

## 奈良井宿



中山道十一宿のうち北から二番目の難所、鳥居峠を控えた宿場町。かつては街道を行き交う旅人で栄えました。その様は「奈良井千軒」と謳われ、木曾路一番の賑わいでした。奈良井宿は、奈良井川に沿って約1kmの中山道沿いに町並みが形成されています。旅籠の軒灯、千本格子など江戸時代の面影を色濃く残しています。

《日 程》	2月20日（日）～21日（月）
《集合時間》	午前7時30分
《集合場所》	池袋駅西口（東京芸術劇場横）
《見学先》	松本城、旧開智学校、奈良井宿他
《費用》	25,000円
《定員》	35名
《宿泊》	浅間温泉「小柳」

## 旧開智学校



明治9年頃に地元の大工が建てた、擬洋風建築の小学校。昭和38年まで実際に小学校として使用され、現在は教育資料館として、当時の教科書や教場日誌などを展示している。屋根の中央には、風見鶏が付いた八角塔、玄関上の表札には天使が舞い、さらにその下には竜の彫刻が施されるという、文明開化期のアンバランスなデザインにも注目。

## 第35回建築技術見学会申込書

支部

氏名		住所	電話番号
		〒	電話
生年月日	年 月 日		携帯